

ふれあい新聞

(12号) 1989年10月5日 (田中野田町内会)

《わが郷土を語る》

(その10)

中尾佐之吉

区画整理で消えてしまう「川市」のこと

“田中野田”にまつわる昔の話を、とまどいもなく書かせてもらっているが、皆さんはどのように感じてくださっているのでしょうか、気にはしているのである。ただ、年寄りが、昔のことを少しでも今の人に伝えておきたいとの思いが、こうさせているのだと、おおらかなお気持ちで受け入れてくださるよう、願う次第。

さて、今回も前号につづいて川に関係することである。末尾の写真をみていただきたい。川縁にある石段である。このような場所をこの地方では岡山弁で「カヴェーチ」とよんでいる。漢字では「川位置」と書くのではないかと思っていたが、中仙道の 佐藤勲さん(郷土史研究家)は、「川市」という字を使っておられるので、私もそれに従うことにする。

とにかく、この地方は、水田稲作農業地帯であったから、用水路は欠かせなかったのであるが、生活の面でも水とは切り離せなかった。このため昔は、家を川の近くに建てた。そして、「せんたく」や「もの洗い」はこの川を利用した。(井戸は各戸になかった時期もあったし、あっても主に、飲水・風呂水・すすぎ水に使った。

この地方に上水道が敷設されたのは、昭和6年である。それ以後、水道によるきれいな水がふんだんに使えるようになってからは、「川市」の必要性がしだいに薄らいでゆき、現在ではこの地区でもわずかしか残っていない。この「川市」も、区画整理でいずれは完全に姿を消すことになる。(原好幸さんの宅南側の「川市」だけは、残してもらえるかもしれない)

私には、この「川市」に忘れることのできない思い出がある。幼少のころ、わが家の裏の「川市」で遊んでいて、不覚にも2度も川へ転落した。溺れているところを助けてもらったわけであるが、一度は「人事不省」になり数分で命を失うところであった。まったく命びろいしたのである。今日まで生き伸びた私の人生は、神様と地域の皆さんのお蔭と、今も感謝しているわけである。



「川市」の石段を望む

平成元年度の区画整理工事

田中野田地区区画整理の平成元年度の工事は、ことしの稲の取り入れが終ってから始まると思いますが、主な工事は、つぎのとおりであるときいています。

- 1) 横野良典さん(2組) 宅西方面の区画道路と水路の新設
- 2) 太田啓一さん(7組) 宅西方面の区画道路と水路の新設
- 3) 古い田中水門の改築
- 4) 林美容院(7組) 駐車場から田中水門までの水路新設
- 5) 旧水路の埋立
- 6) 公園用地の造成

いずれにしても「学童、生徒の通学や地区の皆さんにご迷惑のかかることも多々あると思いますが、協力方よろしく」と市当局から依頼されていますのでお伝えします。(町内会長)

「田中野田の夏まつり」が今年も盛大に行われました

「明るいまち、きれいなまち、楽しいまち」をテーマにさる、8月5日(土)辰巳西公園で第6回夏まつりが開催されました。心配されていた天候にも恵まれ、参加者も今までで最高ではなかったかと思われます。

夜店や多彩な催しものにお年寄りから子どもさんまで楽しいひとときを過ごしていただいたことと存じます。

この夏まつりの実施にあたっては、関係各種団体の役員の方をはじめ町

内のそれぞれの立場の方々の奉仕的な活動とご協力をいただきまして、改めて厚くお礼申し上げます。

なお、夏まつりの収支の状況を下記のとおり報告させていただきます。(町内会長)

〔平成元年度夏まつり収支概要〕

収 入 円		支 出 円	
寄付金	78,000	運営費	113,410
15名様より (ほかに物品の寄贈 もいただきました))		打合せ、諸会合 プログラム作成等 設営費	67,494
町内会負担金	301,368	グランド整備 電気設備	
		消耗品費	54,077
		花火、花束、景品	
		諸謝金	45,000
		備品借上料ほか	
		備品費	67,383
		たいこ、うちわ	
		諸雑費	32,004
	379,368		379,368

